第１学年２組　保健体育科学習指導案

指導者　教諭　井上　晃一

１　日時　11月19日（金）　第５校時（武道場）

２　単元　武道（柔道）

３　題材について

（１）武道は、武術から発生した日本の伝統的な文化である。基本動作や基本となる技を身に付け、相手の動きに応じて、相手を攻撃したり相手の技を防御したりすることによって、互いに高め合う楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

　　　また、武道に積極的に取り組むことを通して、武道の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重して練習や試合ができるようにすることを重視する。

　　　武道は、中学校で初めて学習する内容であるため、授業では安全を第一に考え基本動作や基本となる技を確実に身に付け、それらを用いて相手の動きや変化に対応した攻防を展開することで武道の楽しさを味わうことができるようにする。

（２）本学級の生徒は、明るく活発であり運動を好む生徒が多い。１学期に取り組んだ運動会のダンス練習では、分からない動きを教えてもらおうと積極的に質問したり、ダンスリーダーが運動の苦手な生徒に優しく声をかけて一緒に活動したりするなど、みんなで運動を楽しもうとする前向きさが見られた。また、柔道と運動構造の似ているマット運動では、苦手意識のある生徒もいるが、新しい技に挑戦しようと何度も練習する生徒が多く、意欲的に活動している。

（３）そこで本単元では、技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防ができるようにすることを目標とする。

また、技の崩しの方向に着目し、なぜその方向に崩すのが良いのか理論づけて考えられるように、仲間の動きを観察したり、話し合ったりする場面を多く取っていきたい。

４　学習指導目標

（１）武道の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重して練習や試合ができる。

（２）安全を第一に考え、周りの様子に気を配りながら活動できる。

1. お互いの動きを観察しながら、基本となる柔道の動きや技を身に付けることができる。

５　学習指導計画（９時間）

（１）基本動作と受け身を習得する。マット運動（前転・後転）…３時間

（２）相手の動きに応じた基本動作と受け身を習得する。…３時間

（３）投げ技を習得し、動きの中で学習した技ができる楽しさを味わう。…３時間（本時　２／３）

６　本時の学習指導

（１）目標

・仲間の動きを観察したり、アドバイスしたりすることで、体落としで投げたり、受けたりすることができる。

（２）小学校のカリキュラムとの関わり

　　　柔道は中学校で初めて学ぶ題材であるが、回転運動を行うことが多いため、マット運動とのつながりがあると言える。

（３）学習指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点及び支援活動 | 形態 |
| １　挨拶、目標の確認、体操２　基本動作と受け身の練習・２人組（対面）・２人組（亀）・柔道ダンス（２グループ）３　体落としの習得・体さばきの確認・そんきょ・足をまたいで・立ち姿勢４　理にかなった崩しの方向を見つける。（理由も考える。）・予想の発表・理論の実践５　本時のまとめ・発表・学習ノートに記入 | ・体落としの技名称やポイントを図示して確認する。　　　　　　お互いに協力して体落としで投げたり、受けたりすることができる。・受け身の際、帯を見るように指示する。・引き手を離さないように指示する。・崩しのみで、投げないことを確認する。・安全に気をつけるために、相手への思いやりを考えながら練習するように指示する。・カウントをつけて、動きの確認をする。・取と受の協力で、技を高め合うことを確認する。・タブレットで動きを撮影し、自分や相手の動きを確認するように指示する。・積極的にアドバイスできている生徒を称賛する。・崩しの方向に着目して、練習するように指示する。・柔軟な発想を導くために崩しの方向は無数に存在することを提示する。・体育ノートに崩しの方向の予想とその理由を書き、グループで実践するように指示する。・積極的に発表できている生徒を称賛する。・理にかなった崩しの方向を確認し、グループで実践するように指示する。・崩しの方向を意識して技をかけたり、受けたりできている生徒を称賛する。・学習の振り返りを行わせるために、成果と課題の観点を確認する。・受と取で協力して活動ができたか、体落としの基本的な動きが理解できたかを学習ノートに記入するように指示する。 | 一斉ペアグループグループ一斉グループ一斉 |

（評）体落としで投げたり受けたりすることができたか。〔観察〕（知識・技能）

（評）体落としの技名称や行い方を理解することができたか。〔学習ノート〕（知識・技能）